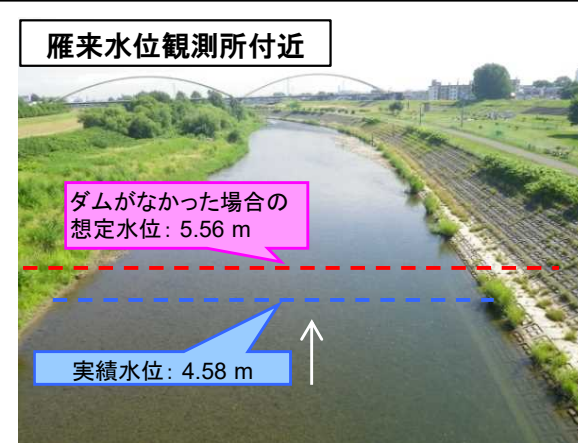
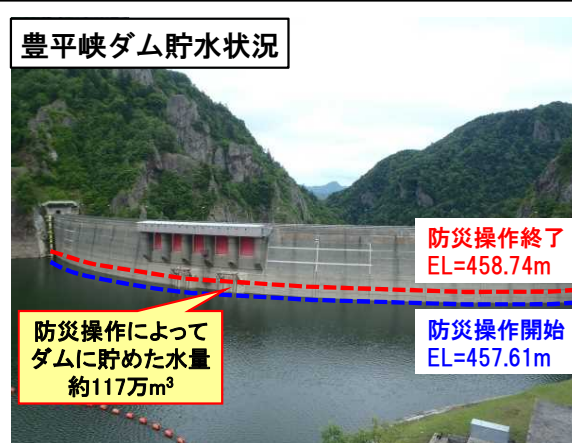
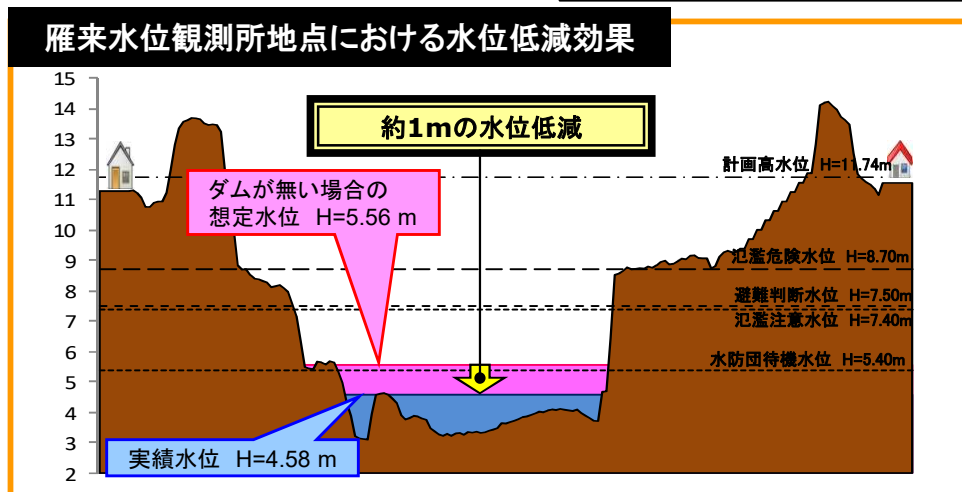
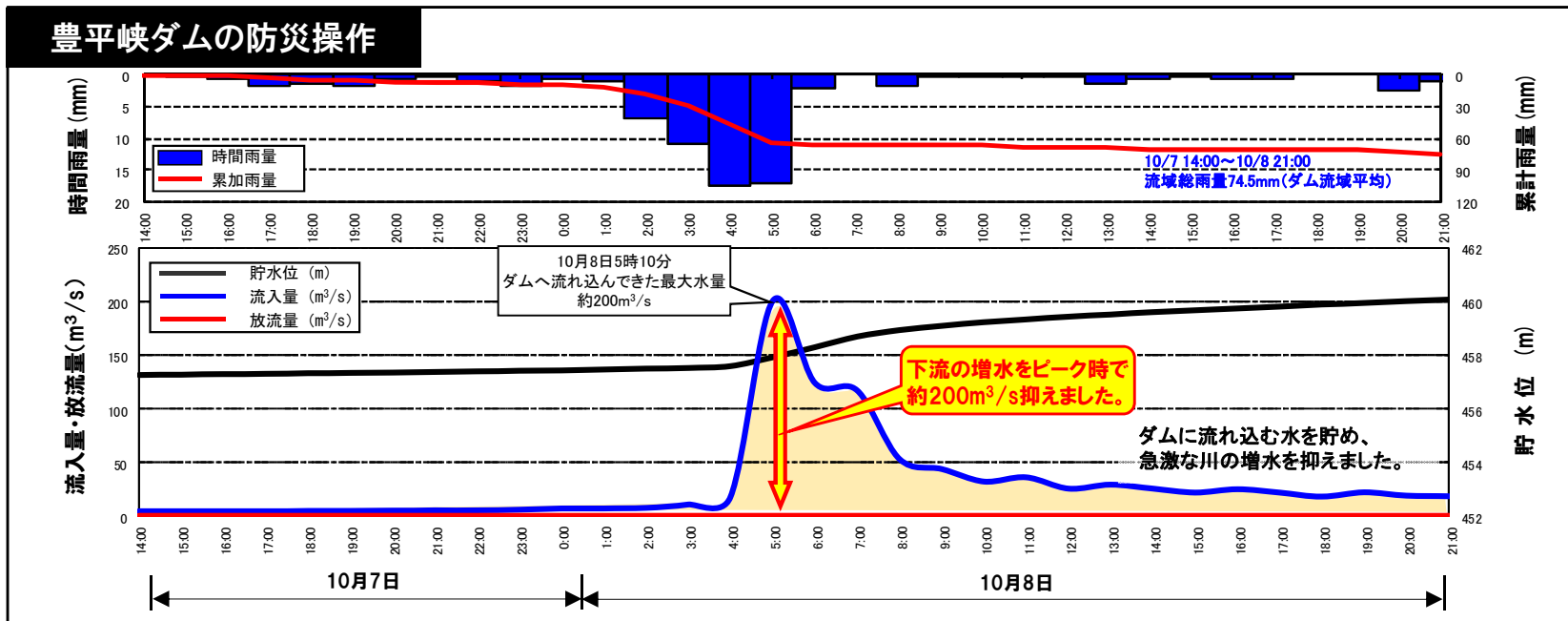


ダム整備が効果を発揮(北海道 豊平峡ダム)(国管理)

- 令和元年10月8日の前線を伴った低気圧の降雨により、豊平峡ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測。
- 豊平峡ダムでは、8日4時から7時までに、約117万 m^3 (札幌ドーム約0.7杯分)の水をダムに一時的に貯留することで下流の水位低減を図り、下流の札幌市(雁来水位観測所)では、水防団待機水位※1以下の水位に抑えることができました。
- 仮にダムが整備されていなければ、水防団待機水位を上回る出水となったものと推測されます。

※1 水防団待機水位：水防団が水防活動を行うための準備を行う目安等となる水位



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。